

令和3年度第1回花巻新渡戸記念館運営協議会会議録

1 開催日時

令和3年11月26日（金）午後1時30分～午後2時30分

2 開催場所

花巻市高松第9地割21番地 花巻新渡戸記念館 事務室

3 出席者

(1) 委員6名

木村清且委員（花巻市文化財保護審議会副会長）、熊谷るり子委員（花巻市地域婦人団体協議会事務局）、多田アツ子委員（矢沢地区振興会）、平塚正隆委員（一般社団法人花巻観光協会専務理事）、福盛田弘委員（花巻芸術文化協会副会長）、堀合徳身委員（花巻市史談会会長）

(2) 事務局（花巻新渡戸記念館）4名

嶽間澤館長、佐々木生涯学習課長、前田副館長、中島上席主査

4 議事

- (1) 令和2年度事業及び利用状況等の報告について
- (2) 令和3年度事業計画について
- (3) 令和4年度事業計画について
- (4) その他

5 会議録

前田副館長

本日は、ご多用のところご出席をいただき、誠にありがとうございます。

開会の前に、会議成立の報告を申し上げます。

本日は委員さん全員に出席していただいております。従いまして、過半数以上の出席となり、花巻新渡戸記念館管理運営規則第9条第2項によりまして、会議が成立することを報告します。

なお、本日の会議傍聴希望者がいないことも併せて報告いたします。

また、花巻市では運営協議会の会議録を花巻市ホームページで紹介しています。より正確に会議内容を紹介できるように録音をしておりますので、発言の際には、お名前の「苗字」を言っていただいておりますので、発言の際には、お名前の「苗字」を言っていただいております。

それでは、開会にあたりまして、嶽間澤館長より開会のご挨拶を申し上げます。

嶽間澤館長

皆様、今日はお集まりいただきありがとうございます。

昨年度はコロナの影響で会議をすることができませんでしたが、今日は全員の委員さんにお集まりいただきました。開会に先立ちまして、(花巻新渡戸記念館管理運営)規則に基づき、会長さんと職務代行の選出をお諮りしたいですが、いかがいたしましょうか。

堀合委員・福盛田委員

事務局一任。

嶽間澤館長

それでは、引き続き木村委員さんへお願いしたいですが、いかがでしょうか。

一同了承。

嶽間澤館長

それでは、木村会長さんには、職務代行の方の選出をお願いいたします。

木村会長

では、福盛田さんをお願いします。

嶽間澤館長

それでは、職務代行は福盛田さんをお願いいたします。

福盛田委員

よろしくをお願いいたします。

委員6名と事務局4名の自己紹介。

嶽間澤館長

開会前に何点か、コロナについてお話しさせていただきます。コロナの影響でだいぶ閉館する期間がありましたが、解禁になりまして、入館者が増えて参りました。関東、関西圏、県内よりも県外の方々の入館者が順調に増えていました。このまま閉館という事態にならないかと思っていますところでございます。現在、11月30日まで開館30周年の催し物をやっておりました。今回(の運営協議会)は変則的な内容になっていて、令和2年度の事業報告、現在進んでい

る令和3年度の事業計画とありますが、令和3年度の事業のお知らせ、令和4年度の事業計画、この3点でご意見をいただくことになっていきますので、後程よろしく願いいたします。

「本立末治（もとたちてすえおさまる）」という扁額がありまして、これは、大正12年、矢沢高等尋常小学校が新築の際に、ちょうど、新渡戸さんが国際連盟の事務局次長をやっていた時に、東京に一時帰国していました。この時、当地出身の県視学であった古川純三という方が上京して、矢沢高等尋常小学校へ何か揮毫してくれないか、とお願いして、帰ってからジュネーブで揮毫してその月の9月に送ってきたものです。海外で揮毫してこちらへ送ってきた珍しいものです。開館以来ずっと収蔵庫にしまっていました。

展示しているのは、複製したものでした。今回、初めて公開させていただきました。それと、20年前に亡くなった矢沢中学校校長の及川巖さんの色紙36枚、全て、新渡戸の一日一言という書籍から新渡戸の言葉を紹介して、当時の矢沢中学校の子供たちへ教え示した色紙でございます。これも展示しておりますので、後程ご覧ください。

では、令和3年度の運営協議会を開会いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

佐々木生涯学習課長

委員の皆様におかれましては、お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。日ごろから花巻新渡戸記念館の運営につきまして、ご支援、ご協力を賜りまして感謝申し上げます。館長からお話がありましたが、当館は今年で開館30周年を迎え、本来であれば盛大にお祝いを兼ねました事業を展開したかったのですが、新型コロナウイルスの動向を確認しながら、先月10月16日に開館行事を行いまして、津田塾大学の高橋裕子学長をリモートでお迎えいたしまして、「新渡戸稲造と津田梅子」と題しましてご講演いただきました。地域の皆様と新渡戸フェスティバルを行ってきて、今年は叶いませんでしたが、参加された皆さんにはご好評いただきました。館長からもお話がありましたが、今年は岩手独自の緊急事態宣言がございまして、8月14日から9月24日まで休館いたしました。それもありまして、年度の初めから自粛ムードがありまして、入館者数が伸びませんでした。11月になりまして入館者数が昨年度並みに戻ってきております。今日の運営協議会では忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。

木村会長

今日は3年間の内容について議事されます。今年は30周年ということで、施設の在り方について考えていきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひいたします。

前田副館長

続いて、協議に入りますが、議長は、管理運営規則第8条第2項の規定により、会長が行うこととなっております。木村会長様、よろしくお願ひいたします。

木村会長

では、議事に入ります。令和2年度事業及び利用状況について、事務局から説明ねがいます。

中島上席主査

お手元の資料2ページをご覧ください。事業報告、展示事業です。
別紙資料のとおり読み上げ

前田副館長

資料3ページ、利用状況です。
別紙資料のとおり読み上げ

空調機器等の更新につきましては、受注生産のため、工期に一定期間を要するほか、入札不調のため、令和元年度から令和2年度に繰り越された事業でございます。以上、簡単ですが、令和2年度の事業報告を終わります。

木村会長

ありがとうございます。コロナ禍で多くの事業が中止になったようですが、十和田市との交流など成果はありました。皆さんから何かご意見やご質問はありますか。

福盛田委員

コロナで減収になった分、文化庁とかから補填はないですか。

佐々木生涯学習課長

現時点で、そういった交付金などはないので、補填されるものはないです。

福盛田委員

分かりました。

木村会長

それでは、令和3年度事業計画について、ご説明願います。

中島上席主査

6ページをご覧ください。令和3年度事業計画について、1、基本方針ですが、新渡戸氏の顕彰と新渡戸家に関わりのあった先人達の業績を紹介します。

2、展示事業です。令和3年度は始まっていますが、6月1日から10月10日までは、「新渡戸稲造のことば展」を予定しておりました。経過としては、8月14日から9月24日まで42日間休館したことによりまして、「新渡戸稲造のことば展」の会期を延長いたしまして、11月末まで展示する予定です。そのため、10月23日から一か月間の「書画展」では、当館所蔵の絵や書を紹介する予定でしたが、こちらは来年度開催予定です。それと、12月11日から1月23日まで新渡戸傳 没後150年としまして、新渡戸稲造の祖父、新渡戸傳を紹介する予定です。その後は、2月11日から4月3日まで恒例の雛人形展を開催します。

3、教育・普及事業です。今年の秋に移動研修として、広報はなまきで参加者を公募して奥州市方面へ行く予定でしたが開催できず、12月7日に実施予定です。10月16日は新渡戸フェスティバルということで、お茶会や子供達の神楽を行う予定でしたが、コロナ禍を配慮しまして、講演会のみの実施となりました。

講演会は、津田塾大学の学長さんをお招きして行う予定でしたが、いろいろとコロナ対策をして、録画映像を流して開催しました。出前講座は資料のとおり。その他の事業としては、「友の会」会員募集の推進として、現在の会員数は31名です。

前田副館長

次に、令和3年度の入館利用者数の目標についてです。入館利用者数の目標値は20,000人です。コロナ禍の中、入館者は低迷しており、11月23日現在で3,367人となっております。

令和3年度当初予算について報告します。

別紙資料のとおり読み上げ

現時点で、修繕関係はほとんどを終えております。

また、今年度は開館30周年を記念し講演会を開催しました。講師謝礼と講演会パネル製作業務を予算計上し、無事に終了しております。講演会では、参加者の人数制限をし、録画映像により開催しました。以上、簡単ですが、令和3年度

事業について説明を終わります。

木村会長

ありがとうございました。令和3年度事業の説明がありましたが、どなたか、ご質問、ご意見はございませんか。

福盛田委員

出前講座というのは、どこへ行ったのか、分かれば教えてください。

嶽間澤館長

4月13日、花巻観光協会主催、新人社員セミナー、当館で講話をしました。4月16日、同じく新人社員セミナーの2回目。6月1日、花巻市、北上市の全中学校へ訪問し、チラシ・招待券を届けました。8月6日、花北振興センターにて、「傳と十次郎」と題して講演しました。9月8日、矢沢中学校1年生が来館し、3クラスに3回講話をしました。9月10日、湯本中学校1年生が来館し、2クラスに講話しました。10月17日、「第4回稲造サミット」が盛岡グランドホテルにて行われ、当館の紹介をしました。10月22日、盛岡中央高校附属中学校1年生が来館し講話しました。11月11日、東京、普連土学園3年生、3クラスが来館し、講話をしました。主なものは、こういったところです。

修学旅行が、東北や関東圏から、今までにないパターンで入ってきているのが嬉しいことですね。岩手県を目指している学生が、盛岡、平泉、花巻へ来ているように思います。

福盛田委員

(修学旅行は) これからはどうですか。春の修学旅行が延期され、これから京都へ行く話を聞きました。

嶽間澤館長

時期的には、秋ですので、これからは、もう少なくなりますね。

佐々木生涯学習課長

新渡戸稲造顕彰の一環としては、花北振興センター、松園振興センター合同で、「初級新渡戸さん講座」というのを継続してやっていて、そちらで館長が講演をしております。去年と今年で、年に3回行っています。

福盛田委員

受講者は何人くらいですか。

嶽間澤館長

30人くらいです。

佐々木生涯学習課長

花北振興センターと松園振興センターのそれぞれで募集して合同で行っています。

堀合委員

新聞などを見ていると、動きが活発になってきている。日本経済新聞をみると求人も増えている。そういう状況ですので、何らかの形で、当館の存在をお知らせしなくてはならない。そういうことが大事かと思えます。

平塚委員

修学旅行の話が出ていましたが、東京を目指していた学生が、隣県や県内の教育施設に来館することが増えています。これがすぐには収束しないとは思いますが、来年以降どうなるのか、ここ2年間、来てくれていた学校がまた来てくれるのか、東京へ行くようになるのか、定かではないです。

多田委員

意見ではなく感想です。近くにいると、なかなか見えてこないものがありますが、館長さんをはじめとするスタッフの皆さん、外部への発信力が素晴らしい。そういうお力でもって、入館者が絶え間なく続いているのではないかと感心しております。本当に大変なご苦勞をなさっていると思えます。発信しなければ、受け手がなかなか出てこないのも、来館者が増えそうな傾向があるということは、館長さんや皆さんの発信力にかける熱意がすごい力になっていると思えました。

堀合委員

矢沢地区の方々をお願いしたいのは、何らかの形でイメージアップのようなことを追い求めていけたら、例えば、野花を植えて四季折々の演出をして総合的なイメージアップを図る。そういうことが大事だと思います。

多田委員

ここの施設をいつも見っていますが、環境が整っていますね。賢治記念館から

花巻駅へ歩くことが多いのですが、残念なことが多い。

堀合委員

あっと目につくような環境整備をすると、誘客促進が期待されていると思う。

多田委員

矢沢としては、こちらや博物館を利用するように、福盛田さんはじめ、声掛はしている。なかなか組織としての活用は難しいなか、こちらの環境整備は素晴らしいと感心している。

木村会長

館長さんは、今まで数多くの講演をなさっていますが、まとめてみてはいかがですか。歴代の館長さんはすごく勉強熱心ですが、それは稲造さんのお人柄でしょうか。

他になければ、進めさせていただきます。

次は令和4年度事業計画について事務局からお願いします。

中島上席主査

別紙資料のとおり読み上げ

前田副館長

来年度は、中庭のスロープの補修、高圧気中開閉器の取替え、庭の橋の目地補修などを要望しています。

木村会長

ありがとうございます。令和4年度の事業についてご説明がありました。皆さん、何かご意見がありましたらお願いします。

八重樫豊澤との接点は何ですか。

中島上席主査

傳は兵法とか武道とかいろいろ勉強し、当時最高の教育を受けたと思うのですが、その中で絵や書を学んだのが八重樫豊澤からで、それを紹介できたらいいと思っています。

木村会長

橋本雪蕉とか八重樫豊澤は江戸時代としては有名な画人でした。その150年後には宮沢賢治が、その150年後には大谷翔平が、という花巻の流れがあるので、八重樫豊澤は素晴らしいと思います。楽しみにしています。

平塚委員

コロナ禍で、中止となった教育普及事業について、令和4年度は復活の動きはありますか。

嶽間澤館長

10月10日は開館記念日ですので、そのあたりの土日にフェスティバルを予定しています。来年の講演につきましても、現在交渉しております。

多田委員

特別展で、盛岡の記念館あたりで、何かお借りするとか、関連性はありますか。

嶽間澤館長

あります。著作集を紹介する企画展を考えています。新渡戸は武士道という本で有名ですが、その他にも日本の歴史をイギリス、ドイツ、アメリカなどで出版したのが16冊。その他に、日本の青年に向けて自分の海外留学経験、修養関係の本をかなり書いています。その書籍は当館にあるものと、先人記念館、県立図書館にあるものを手配して本物を借りてきて紹介したいと思っています。海外でのベストセラーは武士道なのですが、国内では「修養」という本が146版というかなりのベストセラーです。今、渋沢栄一が「青天を突け」でかなり脚光を浴びていますが、明治の時代、実績を残しながら知られていない先人の双璧は、新渡戸と渋沢と思う。渋沢栄一はハード面を作りましたが、新渡戸は教育を中心としたソフト面で人材育成に取り組みました。学校現場で教科書には載っていないので教えられないためか、知名度は低い状態の二人です。よって、彼の著作を中心に若者へ向けて、日本の女子へ向けて、日本のことを海外へ知らせるための書籍もかなり出していますので、その書籍を紹介したいと思います。それと、さきほど会長さんから何かまとめたものを出せと言われましたが、今回もですが特別展があるたびにまとめております。10年間、勤務していろいろなことに取り組んでおりますので、そのまとめたものを差し上げます。ご希望の方は帰りのお声かけください。その中に「帰雁の蘆」という留学時代の思い出話が100話載っていて、その中から面白い話、10話を取り上げたものをまとめておりますのでおかえりの際にお声かけください。

木村会長

その他として何かございますか。

福盛田委員

2点ほど質問があります。稲造サミットの内容と、私は今、新花巻図書館検討委員をしておりますが、稲造の著書で図書館にないものがここにあるのではないかと思います。そのへんはいかがでしょうか。

嶽間澤館長

第4回稲造サミットについて、内容は津田塾大学の学長さんが講演をされました。前の日に当館で講演しましたが、それは録画映像で対応しました。「新渡戸稲造と津田梅子」と題しまして、新渡戸はかなり津田梅子をかわいがりまして、日本の女子教育に様々な提言をしております、海外に行って日本の女子教育が非常に遅れていると、特に高等女子教育が遅れていると様々な面で新渡戸は津田梅子ばかりじゃなくて支援の手を伸べているという話がありました。また、県内の原敬記念館、あらえびす記念館、それから当館の特徴をそれぞれ15分ずついただきました、盛岡のグランドホテルで関係者へ映像とともに説明をしてみました。来年はどこで行うか分かりませんが、札幌、花巻、十和田、盛岡で行っています。

福盛田委員

何人くらい来ましたか。

嶽間澤館長

今回は、グランドホテルで人数制限をしまして、全国から100人くらいでしょうか。北は北海道から、新渡戸ファンが集まりますので、しっかり宣伝して参りました。

中島上席主査

図書館関係ですが、2020年2月に花巻市内文化施設所蔵資料情報として、萬記念美術館、市博物館、当館、文化財センターの4か所でそれぞれ貸してもいい本の調査がありまして、ホームページに載っています。その本は、図書館を通じて貸すことになっています。当館では128冊ほど登録させていただいております。実績はないですが、そのように対応しています。

佐々木生涯学習課長

そういうことですので、もっとPRしていきたいと思います。もちろん、新しい図書館でも同じ対応をしていきます。

福盛田委員

イーハトーブ館も同じ対応ですか。

佐々木生涯学習課長

宮沢賢治関係は、今回の調査にはなかったようですが独自に調査していると思いますので再三いろいろな会議の中で生涯学習部長も賢治関係の図書も図書館で充実させていくと話しておりますので連携して進めていきます。

木村会長

他になければ議事を終わります。ありがとうございました。

嶽間澤館長

今日はたくさんのご意見をいただきありがとうございました。また次回の運営協議会までよろしく願いいたします。